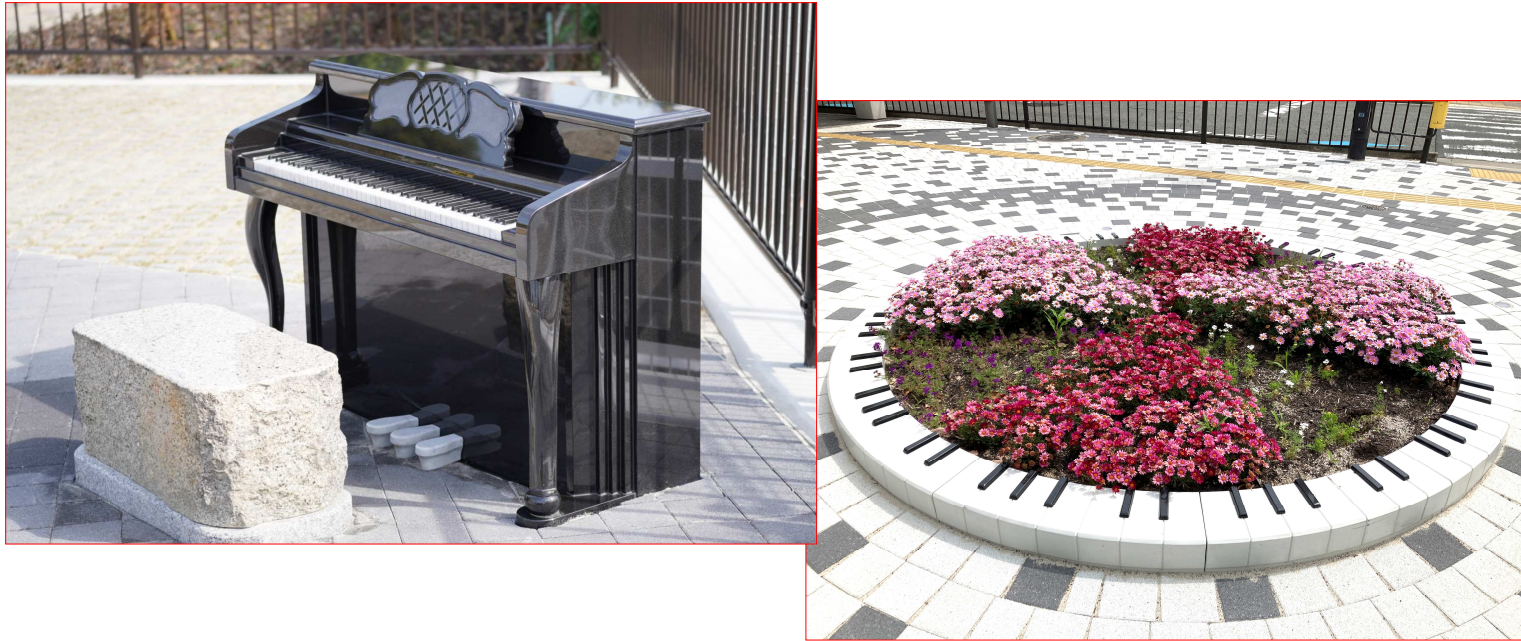


令和4年度（2022年度）都市基盤部事業概要



みらい創造都市 とよなか ~明日がもっと楽しみなまち~

豊中市

～ 目 次 ～

1. 都市基盤部の使命、取り組み方針及び目標	1	3-3. 公共交通の改善	29
		(1) 公共交通改善計画に基づく具体的施策の実施	29
		(2) 千里中央駅前広場再整備検討	30
2. 組織	17	3-4. バリアフリー化の推進	31
2-1. 組織図	17	(1) 歩道改良整備事業	31
2-2. 各課の事務概要	18	(2) バリアフリー化推進事業	32
3. 令和4年度(2022年度)の重点事業	19	3-5. 交通安全対策の推進	33
3-1. 災害に強い都市基盤の構築	19	(1) 通学路交通安全プログラムの推進	33
(1) 曾根島江線整備事業	19	(2) 交通安全啓発	34
(2) 神崎刀根山線整備事業	20	3-6. 自転車活用の推進	37
(3) 菰江交差点改良事業	20	(1) 放置自転車の縮減に向けた取り組みの充実	37
(4) 新千里東町1丁目交差点改良事業	21	(2) 自転車通行空間整備事業	38
(5) 北新田橋整備事業	22	3-7. まちの魅力と賑わいづくりを目的とした 道路整備	39
(6) 水路敷道路化整備事業	23	(1) 千里中央駅前広場再整備検討	39
3-2. 道路ストックの長寿命化	24	(2) 大阪音楽大学周辺整備事業	39
(1) 千里地区歩路橋改修事業	24	(3) 服部天神駅前広場整備事業	40
(2) 道路橋長寿命化事業	24		
(3) 横断歩道橋改修事業	25		
(4) 人道橋改修事業	25		
(5) 道路ストックの計画的な維持修繕	26		
(6) 主要道路舗装事業	27		
(7) 神崎刀根山線舗装事業	28		
(8) 深井戸ポンプの計画的維持管理	28		

3－8. 道路・水路の適切な維持・管理	41
（1）生活道路舗装事業	41
（2）路面下空洞調査事業	41
（3）街路樹更新事業	41
（4）道路通報アプリ・LINEを活用した通報サービスの運用	42
（5）細街路整備事業	43
（6）寄附道路整備助成事業	43
（7）風水害警戒体制	44
4. その他の取り組み	45
4－1. 歳入確保の取り組み	45
4－2. ほたるのタベ	46

1. 都市基盤部の使命、取り組み方針及び目標

都市基盤部の使命

市民が暮らしやすく、安全で快適な生活ができるよう、市が管理する道路、橋梁及び水路等を整備していくとともに、適正な維持管理を行うことにより、災害に強い都市基盤を構築し、本市の安心・安全なまちづくりをめざします。

使命を遂行するための取り組み方針

- 近年の多発する地震・台風・集中豪雨に対応するため、災害に強い都市基盤の構築と橋梁等道路ストックの長寿命化に取り組みます。
- 公共交通の改善、バリアフリー化、交通安全対策、自転車の活用を推進します。
- まちの魅力と賑わいづくりを目的とした道路整備を進めます。
- 道路・水路の整備・管理・保全・維持修繕については、限られた予算で最大限の効果が発揮できるよう、優先順位付けに基づく「選択と集中」を進め、事業を実施します。
- 将来を見据えた市民に寄り添う人づくり・組織づくりを進めていきます。

令和4年度（2022年度）の目標

取り組み事項及びその内容

災害に強い都市基盤の構築

(1) 都市計画道路の整備

①曾根島江線の内、三国塚口線と交差する島江町交差点について、整備工事に向けた用地買収と道路整備の詳細設計を実施します。

- ・用地買収 4月～3月
- ・詳細設計 6月～3月

②三国塚口線について、兵庫県側との接続を含め、事業主体である大阪府と連携して協議を実施します。

(2) 新千里東町1丁目交差点改良事業

新千里3号線・5号線の内、国道423号と交差する新千里東町1丁目交差点について、交差点改良の詳細設計を実施します。

- ・詳細設計 6月～3月

(3) 菰江交差点改良事業

神崎刀根山線の内、国道176号と交差する菰江交差点について、改良工事に向けた電線共同溝の詳細設計を実施します。

- ・詳細設計 6月～3月

(4) 北新田橋整備事業

北新田橋に新たな歩路橋を整備するため、詳細設計を実施します。

- ・詳細設計 8月～3月

(5) 水路敷道路化整備事業

上新田線に水路敷を活用した歩行空間整備を整備するため、詳細設計を実施します。

- ・詳細設計 10月～3月

(6) 無電柱化の推進

「豊中市無電柱化推進計画」に基づき事業を推進します。

- ・菰江交差点の詳細設計 6月～3月
- ・曾根島江線の詳細設計 6月～3月

1

道路ストックの長寿命化

(1) 千里地区歩路橋改修事業

千里地区の歩路橋のライフサイクルコストの縮減と長寿命化のため、「豊中市千里地区歩路橋長寿命化修繕計画」に基づき、改修工事等を実施します。

- ・きりのき橋の改修工事 9月～3月
- ・千里橋斜路橋の改修工事 9月～3月
- ・すずかけ橋の改修設計 8月～3月

(2) 道路橋長寿命化事業

道路橋のライフサイクルコストの縮減と長寿命化のため、「豊中市道路橋長寿命化修繕計画」に基づき、改修工事等を実施します。

- ・新勝部橋の改修工事 令和3年（2021年）7月～令和4年（2022年）8月
- ・北新田橋の改修工事 7月～令和6年（2024年）6月
- ・神洲橋の改修工事（負担金：大阪市施工） 6月～3月
- ・長興寺北1号溝橋の改修設計 8月～3月

(3) 横断歩道橋改修事業

横断歩道橋のライフサイクルコストの縮減と長寿命化のため、「豊中市横断歩道橋長寿命化修繕計画」に基づき、改修工事等を実施します。

- ・野田小曾根線歩道橋の改修設計 8月～3月

(4) 人道橋改修事業

人道橋のライフサイクルコストの縮減と長寿命化のため、「豊中市人道橋長寿命化計画」に基づき、点検調査を実施します。

- ・人道橋点検調査 6月～3月

(5) 幹線道路舗装の計画的修繕

令和2年（2020年）12月に策定した「豊中市舗装修繕計画」に基づき、計画的に修繕工事を実施します。

- ・主要道路舗装事業 7月下旬から9月下旬発注
- ・神崎刀根山線舗装事業 9月下旬から10月下旬発注
- ・生活道路舗装事業 9月下旬発注

	<p>(6) 道路附属物改修事業</p> <p>東豊中町第37号線（三ツ池）については、長年の降雨等により道路を支える法面中腹部が侵食されたことから、護岸の改修工事を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東豊中町第37号線（三ツ池）法面改修工事 7月下旬発注
3	<p>公共交通の改善</p> <p>(1) 阪急バス豊中東西線</p> <p>昨年度実施したアンケート調査結果より事業の見直しを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阪急バス豊中東西線運行内容見直し 4月 <p>(2) 乗合タクシー</p> <p>市民と意見交換を行いながら事業の見直しを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西部地域乗合タクシー意見交換会 5月 ・南部地域乗合タクシー意見交換会 8月 ・西部地域乗合タクシー運行内容見直し 10月 ・南部地域乗合タクシー運行内容見直し 2月 <p>(3) 公共交通改善計画</p> <p>既実施事業や未実施の目標等も含めて総括するとともに必要な調査を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業の実施状況・指標等のチェック 7月 ・公共交通の利用状況等の調査 5月 ・転入者へのバスお試し乗車券配布 7月～12月 ・バスマップ 作成6月 配布7月 <p>(4) 関西MaaS</p> <p>2025年の万博に向けた関西MaaSについては、情報収集と市の関わり方について検討します。</p>

	<p>(5) 千里中央駅前広場再整備検討</p> <p>①千里中央地区内と周辺道路の区画や線形整備計画を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業区域周辺整備計画の基本設計 4月～3月 <p>②地権者、事業者、関係機関との協議調整を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議調整 4月～3月 <p>(6) 可動式ホーム柵の整備</p> <p>市内未整備の阪急宝塚線各駅の整備に向けた事業者への働きかけを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者への働きかけ 4月～3月
4	<p>バリアフリー化の推進</p> <p>(1) 歩道改良整備事業</p> <p>だれもが気軽に出かけられる安全で安心、快適なまちづくりのため、「歩道改良実施計画」に基づく歩道の改良事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内南1号線（2工区）の改良工事 9月～3月 ・庄本神崎川線の改良工事 9月～3月 ・阪急西側南線の改良工事 9月～3月 ・平塚熊野田線の用地買収 6月～3月 <p>(2) バリアフリー化推進事業</p> <p>多様な個性の人々が社会的障壁を感じることなく出かけられる共生社会のまちづくりのため、「バリアフリーマスタープラン」に基づくバリアフリー化事業を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーマップの作成・公表 6月～3月 <p>(3) 可動式ホーム柵の整備（再掲）</p> <p>市内未整備の阪急宝塚線各駅の整備に向けた事業者への働きかけを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者への働きかけ 4月～3月

交通安全対策の推進

(1) 通学路交通安全プログラム

「第3次豊中市通学路通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路と未就学児移動経路において、関係機関と連携した安全対策を実施します。

- ・安全対策の実施 4月～3月
- ・通学路交通安全推進協議会 2月
- ・市内一円安全施設整備工事 5月下旬から10月下旬発注
- ・東豊中町第146号線安全対策工事 5月上旬発注
- ・区画線設置工事（単価契約） 4月下旬・9月中旬発注

(2) 庄内さくら学園の通学路の安全対策

- ・庄内さくら学園通学路交通安全プログラムの策定 8月
- ・庄内さくら学園通学路安全対策 9月上旬発注
- ・阪急西側南線の改良工事 9月～3月

5

(3) (仮称)南校の暫定通学路の安全対策（千成小学校→庄内南小学校）

- ・庄内南1号線（2工区）の改良工事 9月～3月
- ・庄本神崎川線の改良工事 9月～3月

(4) 交通安全啓発

- ・小・中学校に加え高校における交通安全教室の推進
- ・街頭啓発でのプラカードの活用
- *交通安全啓発 4月～3月

自転車活用の推進

(1) 自転車通行空間整備事業

安全・安心で快適な自転車利用環境を創出するため、「自転車ネットワーク計画」に基づき、自転車通行空間の整備工事を実施します。

- ・ 曾根駅服部緑地線（1工区）の整備工事 9月～3月
- ・ 阪急西側北線の整備工事 12月～3月
- ・ 曾根駅東町線の整備工事 10月～
- ・ 阪急西側南線の整備工事 12月～3月
- ・ 豊中柴原線の整備工事 12月～3月
- ・ 自転車通行空間整備の詳細設計 6月～11月

(2) 自転車活用推進計画

①シェアサイクル事業の推進

- ・ シェアサイクル事業の本格実施 11月

②散走の推進

- ・ ルートマップの作成・配布 11月

③自転車利用促進イベントの実施

- ・ 自転車利用促進イベントのサイクルあさひとの協働実施 11月

④自転車通勤の促進

- ・ 自転車通勤宣言企業認定制度の市内事業者への周知 6月

まちの魅力と賑わいづくりを目的とした道路整備

(1) 千里中央駅前広場再整備検討（再掲）

①千里中央地区内と周辺道路の区画や線形整備計画を検討します。

- ・土地区画整理事業区域周辺整備計画の基本設計 4月～3月

②地権者、事業者、関係機関との協議調整を行います。

- ・協議調整 4月～3月

(2) 大阪音楽大学周辺整備事業

大阪音楽大学周辺地域において、音楽を楽しむことを取り入れた道路の整備事業を推進します。

- ・庄内西町第3号線の整備工事 9月～3月

- ・庄内中道線の詳細設計 7月～3月

(3) 服部天神駅前広場整備事業

服部天神駅前地域で地域の特色を生かした快適な広場と府道豊中吹田線を含めた電線共同溝の整備事業を推進します。

- ・府道豊中吹田線の電線共同溝詳細設計 4月～6月

- ・駅前広場用地取得のための公共施設管理者負担金の支出

- ・用地買収 4月～3月

道路・水路の適切な維持・管理

(1) 日常的な維持修繕

道路パトロールや市民からの通報を基に優先順位を付けたうえで、総価契約、単価契約、緊急修繕を組み合わせながら、市民からの要望に迅速かつ適切に対応します。

- ・維持補修事業 道路構造物補修工事（単価契約） 4月上旬発注
- ・一般交通安全施設整備事業 市内一円安全施設整備工事 5月下旬から10月下旬発注
- ・路面標示設置事業 区画線設置工事（単価契約） 4月下旬・9月中旬発注

(2) 路面下空洞調査事業

路面下空洞調査を継続事業として取組みます。

- ・路面下空洞調査委託 7月上旬発注

(3) 街路樹更新事業

街路樹維持管理方針に基づき、植替えや剪定を行うとともに、前回点検で異常が見受けられた樹木の概ね5年後の中間点検を行うことで、時代の変化に合わせた道路緑化の推進と街路樹に起因する事故を防止します。

- ・市内一円街路樹植替工事 10月下旬発注
- ・街路樹点検調査委託 6月上旬発注

(4) 道路ストック点検調査

道路反射鏡については、前回点検で軽微な損傷が見受けられた道路反射鏡の概ね5年後の中間点検を行うことで、落下や倒壊等の事故を防止します。

- ・道路反射鏡点検（中間点検（1回/5年）） 9月下旬発注

(5) 技術力の向上

資格取得、研修の参加を積極的に進めるとともに、日常のOJTを通じて、技術力の向上と市民対応力を養います。

	<p>(6) デジタル化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①電子申請と押印の見直し検討 3月とりまとめ ②オンライン形式による会議やイベント (通年) ③ビッグデータの活用 (通年)
8	<p>人づくり・組織づくり</p> <p>(1) 市民の安全・安心のためにプラス思考でベストを尽くす職員の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市民の意見・要望の肝を把握し、相手の立場になって考える。 ②素直、謙虚になって自分を見つめ直す。 ③失敗、苦情、困難から何かを学び次に活かす。 ④OJT、各研修への積極的な参加、専門書熟読、現場経験による技術力の向上 ⑤文章能力・説明能力・コミュニケーション能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・専門書以外の読書のすすめ ・プレゼンの機会を増やす。 <p>(課内ミーティングでの3分間スピーチ実践)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場に立っての対話 <p>(2) 組織の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①職員同士のコミュニケーションの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・課を横断する業務連携体制の強化 ②上司の傾聴、相談のしやすさ <ul style="list-style-type: none"> ・課を超えた相談体制 (部長・次長との面談など) ③相手へのリスペクト <ul style="list-style-type: none"> ・自分にはない相手の能力を認める。 ・サンクスカードの定着

- ④風通しの良さ・明るく積極的に仕事に取り組む。
 - ・定期的な部内・課内ミーティングの実施
- ⑤各業務の意義を理解
 - ・部内勉強会の実施
- ⑥ライフワークバランス（時間外勤務の縮減と休暇の積極的な取得）
 - ・年間休暇取得日数12日以上 時間外勤務330h以内は最低ライン
 - ・上司が率先垂範
- ⑦他部局との連携調整
 - ・総務係による庁内外の情報収集・共有
- ⑧個人の研修内容を組織内にフィードバック・情報共有
 - ・一定のテーマの研修について部内管理職会で発表の場を設ける。

中期目標（おおむね今後4年間）

	取り組み事項	取り組みにあたっての課題及びめざす成果など
1	災害に強い都市基盤の構築	<p>(1) 曾根島江線整備事業 曾根島江線の島江交差点について、三国塚口線の整備に合わせて拡幅整備に取り組み、安心・安全で円滑な通行の確保を図ります。</p> <p>(2) 新千里東町1丁目交差点改良事業 新千里3号線・5号線の内、国道423号と交差する新千里東町1丁目交差点について、改良に取り組み、安心・安全な通行の確保と渋滞の解消を図ります。・北新田橋北交差点と北新田橋南交差点の間約250mについて、歩行者・自転車利用者の安心・安全で快適な通行空間を確保するため、歩路橋の新設や既存のモノレール駅への斜路付階段移設等の詳細設計に取り組み、令和5年度(2023年度)以降の整備工事着手をめざします。</p> <p>(3) 菰江交差点改良事業 神崎刀根山線の菰江交差点について、国道176号を管理する大阪府と協議して改良に取り組み、安心・安全な運行の確保と渋滞の解消を図ります。</p> <p>(4) 北新田橋整備事業 北新田橋北交差点と北新田橋南交差点の間約250mについて、歩路橋の新設や既存のモノレール駅への斜路付階段移設等に取り組み、歩行者・自転車利用者の安心・安全で快適な通行空間の確保を図ります。</p> <p>(5) 水路敷歩道化整備事業 水路敷を活用した道路の整備事業を推進します。</p> <p>(6) 無電柱化の推進 「豊中市無電柱化推進計画」に基づき事業を推進します。</p>

		<p>(7) 新千里東町歩第8号線（こぼれび通り）整備事業 新千里東町歩第8号線について、URの建替え事業に合わせて無電柱化と道路整備に取り組み、安心・安全で快適な通行空間の確保及び良好な都市景観の形成を図ります。</p>
2	<p>道路ストックの長寿命化</p>	<p>(1) 千里地区歩路橋改修事業 千里地区の歩路橋について、「豊中市歩路橋長寿命化修繕計画」に基づく改修に取り組み、ライフサイクルコストの縮減と長寿命化を図ります。</p> <p>(2) 道路橋長寿命化事業 道路橋について、「豊中市道路橋長寿命化修繕計画」に基づく改修に取り組み、ライフサイクルコストの縮減と長寿命化を図ります。</p> <p>(3) 横断歩道橋改修事業 横断歩道橋について、「豊中市横断歩道橋長寿命化修繕計画」に基づく改修に取り組み、ライフサイクルコストの縮減と長寿命化を図ります。</p> <p>(4) 人道橋改修事業 人道橋について、「豊中市人道橋長寿命化計画」に基づく改修に取り組み、ライフサイクルコストの縮減と長寿命化を図ります。</p> <p>(5) 幹線道路舗装の計画的修繕 幹線道路の舗装について、「豊中市舗裝修繕計画」に基づき計画的に修繕工事を実施し、劣化の拡大防止を図ります。</p> <p>(6) 道路附属物改修事業 ボックスカルバートについて、「豊中市ボックスカルバート長寿命化修繕計画」に基づく改修に取り組み、ライフサイクルコストの縮減と長寿命化を図ります。</p>

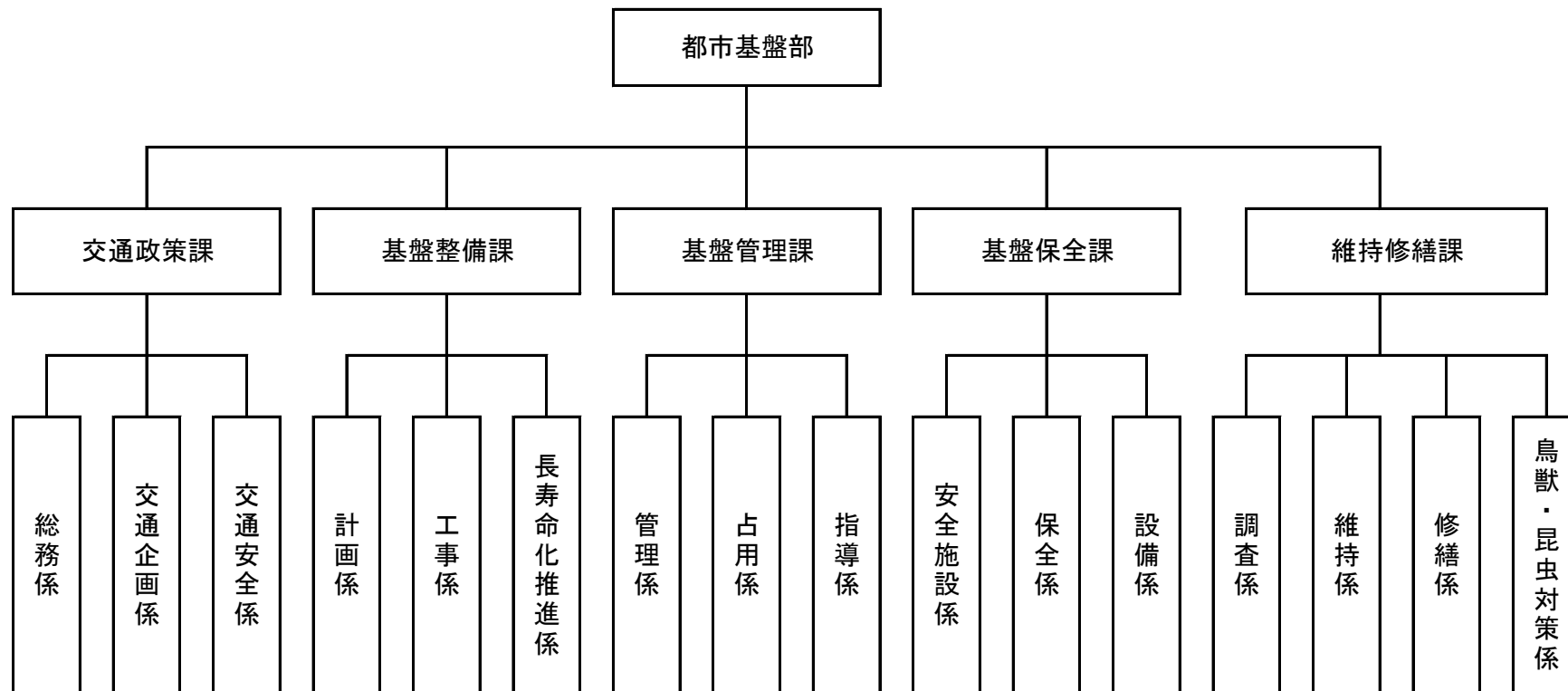
3	公共交通の改善	<p>(1) 公共交通改善事業 市民がマイカーに頼らなくても移動できる交通体系の整備をめざし、「公共交通改善計画」に基づき、具体的な取組み施策を実施します。</p> <p>(2) 千里中央駅前広場整備 千里中央活性化基本方針の実現をめざす動きの中で、当該地区が抱える交通問題の解決をめざし、地権者や事業者、関係機関との協議・調整を進め、周辺道路も含めた基盤整備について令和5年度（2023年度）より段階的に検討します。</p> <p>(3) 鉄道駅安全対策事業 可動式ホーム柵について、阪急宝塚線の整備について調整を図り、必要な支援に取り組みます。</p>
4	バリアフリー化の推進	<p>(1) 歩道改良整備事業 「歩道改良実施計画」に基づく歩行者通行空間の改良に取り組み、安心・安全で快適な歩行者通行環境の向上を図ります。</p> <p>(2) バリアフリー化推進事業 多様な個性の人々が社会的障壁を感じることなく出かけられる共生社会のまちづくりのため、「バリアフリーマスタープラン」に基づくバリアフリー化事業を推進します。</p> <p>(3) 鉄道駅安全対策事業（再掲） 可動式ホーム柵について、阪急宝塚線の整備について調整を図り、必要な支援に取り組みます。</p>
5	交通安全対策の推進	<p>(1) 「豊中市通学路交通安全プログラム」に基づく点検と安全対策</p> <p>(2) 警察等関係者と連携した交通安全啓発</p>
6	自転車活用の推進	<p>(1) 自転車通行空間整備事業 「自転車ネットワーク計画」に基づく自転車通行空間の整備に取り組み、安心・安全で快適な自転車利用環境の創出を図ります。</p> <p>(2) 自転車活用推進計画 「豊中市自転車活用推進計画」に基づく自転車の利用促進に係る取組を進めます。</p>

7	<p>まちの魅力と賑わいづくりを目的とした道路整備</p>	<p>(1) 千里中央駅前広場整備（再掲） 千里中央活性化基本方針の実現をめざす動きの中で、当該地区が抱える交通問題の解決をめざし、地権者や事業者、関係機関との協議・調整を進め、周辺道路も含めた基盤整備について令和5年度（2023年度）より段階的に検討します。</p> <p>(2) 大阪音楽大学周辺整備事業 大阪音楽大学周辺地域において、音楽を楽しむことを取り入れた道路の整備事業を推進します。</p> <p>(3) 服部天神駅前広場整備事業 服部天神駅前で地域の特色を生かした快適な広場と府道豊中吹田線を含めた電線共同溝の整備事業を推進します。</p>
8	<p>道路・水路の適切な維持・管理</p>	<p>(1) 日常的な維持修繕 道路パトロールや市民からの通報を基に優先順位を付けたうえで、迅速に対応します。総価契約、単価契約、緊急修繕を組み合わせながら、市民要望に適切に対応します。</p> <p>(2) 路面下空洞調査 幹線道路と生活道路の調査を5年に1度継続して実施します。</p> <p>(3) 街路樹更新 街路樹はその維持管理方針に基づき、植替えや剪定を行います。</p> <p>(4) 道路ストックの計画的な点検 令和3年度（2021年度）に実施した防犯灯柱点検により、点検が必要な道路ストックの1巡目の点検が完了しましたが、引き続き、2巡目の定期点検を実施し、損傷状況に応じて適切に対応します。</p> <p>(5) 技術力の向上 資格取得、研修の参加を積極的に進めるとともに、日常のOJTを通じて、技術力の向上と市民対応力を養います。</p>

9	人づくり・組織づくり	<p>(1) 次世代を見据えた人材育成</p> <p>①デジタル化を推進する人材</p> <ul style="list-style-type: none">・GISの更なる活用・ビッグデータやドローンの活用・次世代型モビリティへの取り組み・Maasへの取り組み <p>②NATS間の人材交流</p> <ul style="list-style-type: none">・他市の取り組みについて肌で感じ、本市へフィードバック・NATS間連携での新たな取り組みの創出 <p>③民間企業との人材交流</p> <ul style="list-style-type: none">・建設業界、交通業界の新たな考え方を取り入れる・行政の立場、考え方を伝える。
---	------------	---

2. 組織

2-1. 組織図



2-2. 各課の事務概要

(1) 交通政策課

交通政策課は、部の総括事務に加えて、交通政策に関する企画・調整、交通安全意識の普及徹底及び指導啓発などを行っています。また、放置自転車などの移動・保管・啓発活動及び自転車駐車場に関わる業務を行っています。

(2) 基盤整備課

基盤整備課は、道路事業及び街路事業の計画、調査、測量、設計、工事並びに交通バリアフリー事業の推進、市が管理する道路橋梁の長寿命化を行い、安全で快適な道づくりを行っています。

(3) 基盤管理課

基盤管理課は、道路、水路及び親水水路の管理、占用、協議、調査並びに不法占拠等の是正指導などを行っています。また、風水害警戒体制により関係部局と連携し、大雨や暴風雨に対応しています。

(4) 基盤保全課

基盤保全課は、市が管理する道路橋梁、水路施設及び親水水路の維持修繕並びに照明施設、道路反射鏡及び安全柵などの新設改良や維持修繕を行い、安全で快適な道路・水路機能の確保を行っています。また、深井戸ポンプや農業用水利施設の維持修繕を行っています。

(5) 維持修繕課

維持修繕課は、水路、道路の簡易な維持修繕及び清掃に関すること、スズメバチ等の害虫や害獣の駆除もあわせて行っております。また、関係部局と協力し、大雨や台風等による水防活動を行っています。

3. 令和4年度（2022年度）の重点事業

3-1. 災害に強い都市基盤の構築

災害に強く安心して暮らせる良好な市街地を形成するため、都市基盤となる都市計画道路や橋梁の整備を推進します。

(1) 曾根島江線整備事業

【概要】

都市計画道路三国塚口線と交差する島江町交差点について、安全で円滑な交通環境を確保するため、都市計画幅員を8mから17mに計画変更し、交差点改良に取り組みます。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

- ・用地買収と電線共同溝を含む道路整備の詳細設計

【スケジュール】

- ・平成28年度(2016年度)：関係者等との協議
- ・平成29年度(2017年度)：都市計画変更資料作成
- ・平成30年度(2018年度)：権利者等説明、計画変更準備
- ・平成元年度(2019年度)：地元説明、権利者説明、計画変更
- ・令和2年度(2020年度)：事業認可(4月1日)、権利者説明、用地測量、補償調査、用地交渉
- ・令和3年度(2021年度)：用地買収
- ・令和4年度(2022年度)：用地買収、道路詳細設計（電線共同溝含む）
- ・令和5年度(2023年度)：用地買収、地下埋設物工事
- ・令和6年度(2024年度)：道路整備工事（電線共同溝含む）



(2) 神崎刀根山線整備事業

【概要】

神崎刀根山線の未整備区間について、交通の安全向上と円滑化及び密集市街地における防災空間、避難経路を確保するため、道路拡幅による道路整備に取り組みます。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

- ・用地測量

【スケジュール】

- ・令和4年度(2022年度)：用地測量
- ・令和5年度(2023年度)：道路詳細設計
- ・令和6年度(2024年度)以降：用地買収、道路整備工事



(3) 菰江交差点改良事業

【概要】

国道176号と神崎刀根山線が交差する菰江交差点について、交通の円滑化と安全性の向上とともに、交通渋滞の解消を図るため、神崎刀根山線の道路改良に取り組みます。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

- ・電線共同溝の詳細設計



【スケジュール】

- ・平成 30 年度(2018 年度)：線形検討、関係機関との協議
- ・平成元年度(2019 年度)：関係機関との協議、地元調整
- ・令和 2 年度(2020 年度)：関係機関との協議、地元調整
- ・令和 3 年度(2021 年度)：道路詳細設計
- ・令和 4 年度(2022 年度)：電線共同溝の詳細設計
- ・令和 5 年度(2023 年度)以降：道路改良工事（電線共同溝含む）

（4）新千里東町 1 丁目交差点改良事業

【概要】

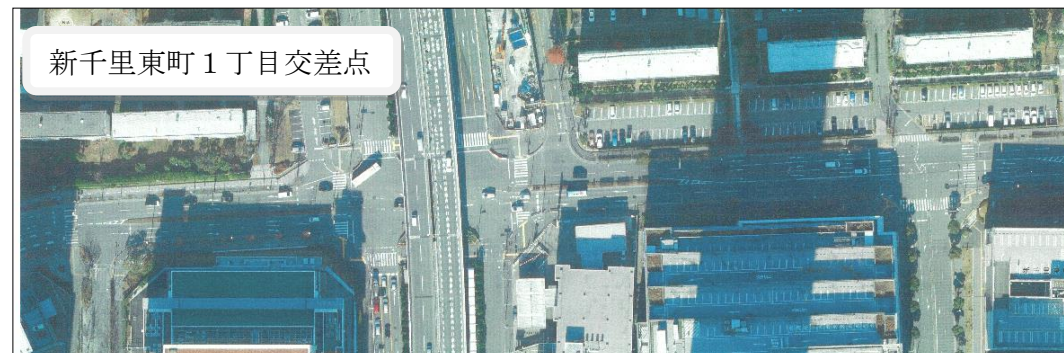
新千里東町 1 丁目交差点について、交通渋滞の解消を図るため、新千里 3 号線、新千里 5 号線の中央分離帯及び歩道の活用により、2 車線道路の 3 車線化等による交差点の改良に取り組みます。

【令和 4 年度（2022 年度）事業概要】

- ・交差点改良の詳細設計

【スケジュール】

- ・令和 4 年度(2022 年度)：詳細設計、地質調査
- ・令和 5 年度(2023 年度)：地元説明、関係機関協議
- ・令和 6 年度(2024 年度)：交差点改良工事、関係機関協議



(5) 北新田橋整備事業

【概要】

北新田橋北交差点と北新田橋南交差点の間約 250m について、歩路橋の新設や既存のモノレール駅への斜路付階段移設等により、歩行者・自転車利用者の安心・安全で快適な通行空間の確保に取り組めます。

【令和 4 年度（2022 年度）事業概要】

- ・歩路橋と斜路付階段移設の詳細設計

【スケジュール】

- ・令和元年度(2019 年度)：予備設計、関係機関との協議
- ・令和 2 年度(2020 年度)：工法検討、関係機関との協議
- ・令和 3 年度(2021 年度)：詳細設計（上部工）、交通シミュレーション
- ・令和 4 年度(2022 年度)：詳細設計（上部工、斜路付き階段、下部工）
- ・令和 5 年度(2023 年度)以降：整備工事

（長寿命化事業の改修工事は、令和 4 年度(2022 年度)～令和 6 年度(2024 年度)で実施。）



(6) 水路敷道路化整備事業

【概要】

水路敷を活用した道路空間の整備により、安心・安全で快適な通行空間の確保と良好な住環境の創出に取り組みます。

【令和4年度(2022年度)事業概要】

- ・ 上新田線の詳細設計

【スケジュール】

- ・ 令和3年度(2021年度) : 蛭池南町勝部線の整備工事、上新田線の施工方法検討
- ・ 令和4年度(2022年度) : 上新田線の関係機関協議、道路詳細設計、下水施設詳細設計(下水)、地元調整
- ・ 令和5年度(2023年度)以降 : 上新田線の道路整備工事

(参考)水路の暗渠化は下水道建設課が実施(地下埋設物移設工事含む)



3-2. 道路ストックの長寿命化

道路・橋梁・水路の維持修繕については、損傷が激しくなってから修繕を行う「事後保全」から、定期的な点検を行い損傷が軽微な段階で早期対策を行う「予防保全」へと政策転換を図ることにより、道路・橋梁・水路の長寿命化並びにライフサイクルコストの縮減を図るとともに、道路網の安全性・信頼性の確保を図ります。

(1) 千里地区歩路橋改修事業《豊中市千里地区歩路橋長寿命化修繕計画》

【概要】

定期点検の結果により策定した「豊中市千里地区歩路橋長寿命化修繕計画」に基づき、修繕、補強工事に取り組みます。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

- ・きりのき橋の改修工事
- ・千里橋斜路橋の改修工事
- ・すずかけ橋の改修設計



(2) 道路橋長寿命化事業《豊中市道路橋長寿命化修繕計画》

【概要】

定期点検の結果により策定した「豊中市道路橋長寿命化修繕計画」に基づき、修繕、補強工事に取り組みます。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

- ・新勝部橋の改修工事：令和3～4年度(2021～2022年度)債務
- ・北新田橋の改修工事：令和4～6年度(2022～2024年度)債務
- ・神州橋改修工事の負担金（大阪市施工）
- ・長興寺北1号溝橋の改修設計



(3) 横断歩道橋改修事業《豊中市横断歩道橋長寿命化修繕計画》

【概要】

定期点検の結果により策定した「豊中市横断歩道橋長寿命化修繕計画」に基づき、修繕、補強工事に取り組みます。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

- ・野田小曾根線横断歩道橋の改修設計



(4) 人道橋改修事業《豊中市人道橋長寿命化修繕計画》

【概要】

定期点検の結果により策定した「豊中市人道橋長寿命化修繕計画」に基づき、修繕、補強工事に取り組みます。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

- ・点検調査

【スケジュール】

5年毎の定期点検調査で見直す各橋梁の「長寿命化修繕計画」に基づき事業を実施

(5) 道路ストックの計画的な維持修繕

【概要】

老朽化する道路ストックを適切に維持管理できるよう、点検調査を実施したうえで、劣化や損傷の著しい施設から補修工事等を実施し、道路利用者及び第三者被害の防止を図ります。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

①道路附属物改修事業

- 東豊中町第37号線（三ツ池）法面改修工事

②道路照明改修

- 新千里2号線外2路線 N=14基



(6) 主要道路舗装事業

【概要】

点検調査結果を踏まえて策定した「豊中市舗装修繕計画」に基づき、主要道路において、舗装の劣化が著しい区間の舗装修繕を行います。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

路線名	延長(m)	幅員(m)	面積(m ²)
今在家線	140.0	4.2~6.3	740
新千里5号線	200.0	6.5	1,300
玉井町第40号線	120.0	4.0	480
刀根山線	380.0	5.0	1,900
緑丘上野坂線	150.0	6.0	900
原田神崎川線	240.0	6.0	1,440
千里園熊野田線	120.0	6.5	780
千里西町外回り線	380.0	7.0	2,660
勝部原田小学校線	270.0	7.0	1,890
利倉園田線	50.0	5.5	275
原田伊丹線	240.0	7.0	1,680
大阪国際空港線	170.0	10.0	1,700
計	2,460.0		15,745

(7) 神崎刀根山線舗装事業

【概要】

点検調査結果を踏まえて策定した「豊中市舗装修繕計画」に基づき、緊急交通路である神崎刀根山線において、舗装の劣化が著しい区間の舗装修繕を行います。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

- ・熊野町4丁目地内外の車道舗装 L=250m W=8.0m
- ・二葉町2丁目地内外の車道舗装 L=230m W=12.0m
- ・上下水道事業（水道工事）負担金協定に伴う負担金
豊南町東1丁目地内外の車道舗装 L=150m W=10.0m

(8) 深井戸ポンプの計画的維持管理

【概要】

市で管理する21か所の農業用深井戸ポンプについては、深井戸改修計画に基づき、ポンプの交換やしゅんせつ等を定期的 to 実施し長寿命化を図るとともに、深井戸遠隔監視システムにより日常点検を行うことで、異常箇所の早期発見に取り組みます。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

- ・蛍池深井戸ポンプ整備工事

3-3. 公共交通の改善

だれもが気軽に利用できるように、市民の移動手段を確保するとともに地球温暖化防止を図り、マイカーに頼らない交通体系を確立するため、公共交通の利便性及び快適性の向上を推進します。

(1) 公共交通改善計画に基づく具体的施策の実施

【概要】

将来的な人口減少・少子高齢化の進展及び北大阪急行の延伸事業などにより、公共交通を取り巻く環境の変化が想定され、この維持・向上が課題となることから、策定した「豊中市公共交通改善計画」に基づき、持続可能な公共交通の構築を図ります。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

「豊中市公共交通改善計画」に基づき、東西軸バス路線および西部地域・南部地域におけるデマンド型乗合タクシーの運行改善の実施及び、モビリティマネジメントの一環として転入者へ公共交通マップの配布と同時にバスお試し乗車券の配布を行います。また、「豊中市自転車活用計画」に基づきシェアサイクル実証実験の評価・効果検証と本格実施を行います。

【スケジュール】

- ・平成29年度（2017年度）：庁内・事業者協議、行政素案策定、検討協議会設立
- ・平成30年度（2018年度）：「豊中市公共交通改善計画」の策定
- ・令和元年度（2019年度）：西部地域デマンド型乗合タクシー事業の開始、シェアサイクルの実証実験の開始
- ・令和2年度（2020年度）：「豊中自転車活用推進計画」の策定
- ・令和3年度（2021年度）：東西軸バス路線の運行開始、南部地域デマンド型乗合タクシー事業、シェアサイクルの拡充
- ・令和4年度（2022年度）：転入者向けバスお試し乗車券の配布、シェアサイクル本格実施

(2) 千里中央駅前広場再整備検討

【概要】

千里中央地区活性化ビジョンの実現に向けた取り組みが府や地元企業等と官民協働のもと進められています。この取り組みに合わせ、同地区のさらなる活性化を図る指針として策定された「千里中央地区活性化基本計画」に基づき、当該地区が抱える交通問題の解決をめざし、将来の交通需要を考慮した安全で快適な駅前空間の実現に向けて、周辺道路も含めた基盤整備の具体的な検討を進めます。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

「千里中央活性化基本計画」における基盤整備計画に基づき検討された地区内及び周辺道路の区画や線形整備計画について、関係部局と連携し、土地区画整理事業の事業化支援と、相乗効果が期待できる周辺整備計画も含めた詳細検討を進めるとともに、地権者や事業者、関係機関との協議・調整を行います。

【スケジュール】

- ・平成30年度（2018年度） : 千里中央地区活性化基本計画の策定
- ・平成30～令和5年度（2018～2023年度） : 関係者協議、検討、設計
- ・令和6年度（2024年度）～ : 区画整理事業（官民連携）による駅前広場及び駅周辺道路の再整備（工事）

3-4. バリアフリー化の推進

だれもが気軽に出かけ、社会参加することができる街づくりのため、移動環境のバリアフリー化を推進します。

(1) 歩道改良整備事業

【概要】

歩道の「狭い」「勾配がきつい」「段差・凹凸がある」等の問題に対処し、安全で快適な歩行空間を形成するため、令和4年（2022年）3月に策定した「歩道改良実施計画（令和3年度改訂版）」に基づき、拡幅や構造形式の変更などの道路改良に取り組みます。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

- ・ 庄内南1号線（2工区）の改良工事：L=278m
- ・ 庄本神崎川線の改良工事：L=375m
- ・ 阪急西側南線（4-1工区）の改良工事：L=192m
- ・ 平塚熊野田線の用地測量と用地買収：A=32.5㎡

【スケジュール】

「歩道改良実施計画（令和3年度改訂版）」に基づき、拡幅や構造形式の変更などの道路改良に取り組みます。



(2) バリアフリー化推進事業

【概 要】

市は、交通バリアフリー法に基づき既に基本方針と基本基想を策定していますが、平成30年(2018年)にバリアフリー法が改正されたことから、基本方針をブラッシュアップした移動等円滑化促進方針(バリアフリーマスタープラン)に基づくバリアフリー化に取り組み、安心・安全で円滑な歩行者移動環境の向上を図ります。

【令和4年度(2022年度)事業概要】

- ・バリアフリーマップの作成と公表：令和4年度(2022年度)～令和6年度(2024年度)債務

3-5. 交通安全対策の推進

だれもが安全で安心して市内を移動できるような交通環境を実現するために、交通事故の防止に向けて、交通安全教育・交通安全運動を通じ、安全意識を啓発するとともに、通学路の安全点検に基づく交通安全施設の整備等を進めます。また、放置自転車解消に向けた取り組みを進めます。

(1) 通学路交通安全プログラムの推進

【概要】

年々変化する交通環境に合わせた通学路の安全確保の取り組みを継続するために、学校・PTA、警察などの関係機関で組織する推進体制を構築し、平成27年度（2015年度）に1回目の「豊中市通学路交通安全プログラム」を策定しました。このプログラムは、市内全小学校で3年ごとに定期点検を実施し、点検、対策、評価、改善を繰り返し行うことで通学路の安全性の向上を図るもので、これに基づき令和3年度（2021年度）からは未就学児の移動経路を反映したプログラムを推進しています。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

庄内さくら学園と南校を含めた全小学校の通学路と未就学児の移動経路について、点検を実施し、安全対策を実施します。また、その進捗状況を市ホームページにおいて公表します。

(2) 交通安全啓発

市長を会長として、豊中警察署・豊中南警察署及び民間団体等の36団体で構成する「交通事故をなくす運動」豊中市推進協議会を設置し、相互に連携しながら下記事業を進めています。

○交通安全教育

- ・ こども園・保育所・幼稚園の親子ぐるみの交通安全教室
- ・ 小学校・中学校・高等学校等の交通安全教室
- ・ 高齢者を対象とした交通安全講習及び豊中市高齢者交通安全条例に基づく高齢者交通安全モデル地区の啓発
- ・ 一般ドライバーを対象とした安全運転者講習



小学校での交通安全教室



中学校での交通安全教室

○交通安全運動

- ・春の全国交通安全運動
- ・夏の交通事故防止運動
- ・秋の全国交通安全運動
- ・年末の交通事故防止運動



春の交通安全フェア in とよなか



秋の交通安全フェア

○自転車の交通安全

- ・「自転車マナーアップ強化月間」における街頭啓発等（11月）
- ・自転車の安全指導としての街頭啓発

○市民協働

- ・通学路の安全対策（通学路交通安全プログラム）
- ・地域主催の交通安全教室



地域主催の交通安全教室

3-6. 自転車活用の推進

(1) 放置自転車の縮減に向けた取り組みの充実

【概要】

駅周辺に利便性の良い駐輪場を設置するとともに、通行の妨げになっている放置自転車等の撤去を行っており、市民や警察、鉄道事業者と連携し、啓発活動に取り組んでいます。



撤去前



撤去後

【令和4年度（2022年度）事業概要】

- ・夜間撤去の実施
- ・サインキューブ（樹脂製立看板）設置場所の検討

○民間駐輪場整備助成事業

【概要】

駅周辺の放置禁止区域において、空き地や空き店舗を活用した利便性の良い民間による駐輪場の整備を促進するため、駐輪場の整備に要する経費の一部を助成します。

(2) 自転車通行空間整備事業

【概要】

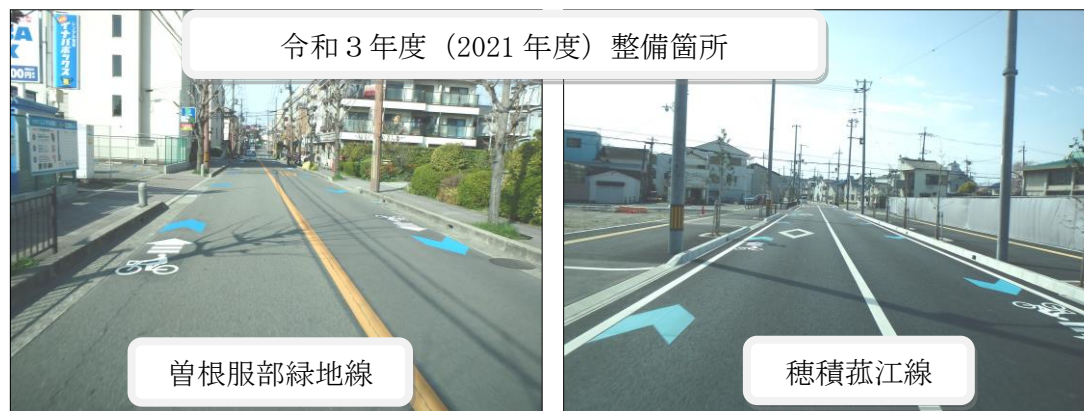
自転車利用者の増加に対応する安全対策及び自動車から自転車への利用を促進する環境対策に対するニーズが高まっていることから、国より『安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン』（平成28年（2016年）7月）が示されたことを受け、市では安全で快適な自転車通行空間を創出するため、『豊中市自転車通行空間整備の考え方』（平成26年（2014年）6月）を策定し、『豊中市自転車ネットワーク計画』（平成31年（2019年）2月）に基づき、計画的に自転車通行空間の整備に取り組みます。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

- ・ 曾根服部緑地線（1工区）の整備工事：L=570m
- ・ 勝部寺内線の整備工事：L=650m
- ・ 曾根駅東町線の整備工事：L=370m
- ・ 阪急西側南線の整備工事：L=669m
- ・ 豊中柴原線の整備工事：L=1,050m

【スケジュール】

- ・ 平成26年度（2014年度）：「豊中市自転車通行空間整備の考え方」の取りまとめ
- ・ 平成27年度（2015年度）：東豊中線（L=800m）、阪急西側北線（L=500m）、阪急東側線（L=500m）の整備工事（府道伊丹豊中線以北）、東豊中線の効果検証
- ・ 平成28年度（2016年度）：阪急西側北線（L=700m）、阪急東側線（L=700m）の整備工事（府道伊丹豊中線以南）、阪急西側北線、阪急東側線の効果検証、街頭啓発
- ・ 平成29年度（2017年度）：全市的なネットワーク計画策定
- ・ 平成30年度（2018年度）：「豊中市自転車ネットワーク計画」の成案化、阪急東側線（曾根駅以北 L=132m）の整備工事
- ・ 令和元年度（2019年度）：阪急西側庄内線（L=600m）、野田小曾根線（L=640m）の整備工事
- ・ 令和2年度（2020年度）：穂積菰江線（L=1,530m）、阪急西側庄内線（L=695m）の整備工事、庄本神崎川線の安全対策（L=117m）
- ・ 令和3年度（2021年度）：阪急東側線（L=570m）、阪急西側庄内線（L=1,220m）、穂積菰江線（L=690m）の整備工事
- ・ 令和4年度（2022年度）以降：「豊中市自転車ネットワーク計画」の優先度1、2及び緊急を要する路線を整備



3-7. まちの魅力と賑わいづくりを目的とした道路整備

まちのにぎわい創出を支援するため、景観などの地域の特色に配慮した道路整備を推進します。

(1) 千里中央駅前広場再整備検討（再掲）

P26. 3-3-(2)

(2) 大阪音楽大学周辺整備事業

【概要】

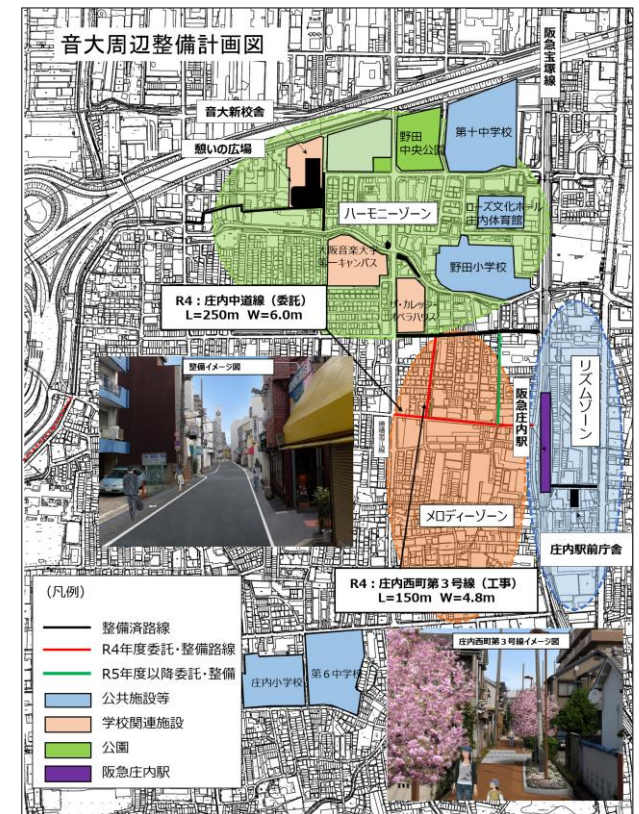
庄内駅から大阪音楽大学までのアクセス路について、基本コンセプトを「音楽を通じたにぎわい溢れるまち」とし、地域の特色を踏まえ、「リズムゾーン」、「メロディゾーン」、「ハーモニーゾーン」にゾーニングし、各ゾーンのデザインコンセプトに応じた景観整備に取り組み、にぎわいを感じられる空間形成を図ります。庄内北回り線と穂積菰江線の交差点では、音大生の意見を取り入れ、音楽を目で楽しめる景観の整備や休憩施設を兼ねた植栽帯等の整備に取り組みます。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

- ・ 庄内西町第3号線の整備工事
- ・ 庄内中道線の詳細設計

【スケジュール】

- ・ 平成26年度(2014年度)：大阪音楽大学へのアクセス道路景観整備基本計画、周辺道路の詳細設計
- ・ 平成27年度(2015年度)：エントランス部の整備工事、音大通り線の予備設計
- ・ 平成28年度(2016年度)：周辺道路及び憩いの広場の整備工事、音大通り線の詳細設計
- ・ 平成29年度(2017年度)：音大通り線の整備工事(1-1工区)
- ・ 平成30年度(2018年度)：音大通り線の整備工事(1-2工区)
- ・ 令和元年度(2019年度)：音大通り線の整備工事(1-3工区)



- ・令和2年度(2020年度)：庄内北回り線の詳細設計
- ・令和3年度(2021年度)：庄内北回り線の整備工事、庄内西町第3号線の詳細設計
- ・令和4年度(2022年度)：庄内西町第3号線の整備工事、庄内中道線の詳細設計
- ・令和5年度(2023年度)：庄内中道線の整備工、庄内西町市有7号の詳細設計
- ・令和6年度(2024年度)：庄内西町市有7号の整備工事

(3) 服部天神駅前広場整備事業

【概要】

土地区画整理事業と街路事業が融合した「沿道整備街路事業」による駅前広場の整備と服部踏切から国道176号までの府道豊中吹田線の無電柱化に取り組み、駅利用者の安全性と利便性の向上及び駅前の顔として、魅力的な広場空間の整備と交通結節点としての機能向上に取り組みます。

【令和4年度(2022年度)事業概要】

- ・用地買収(街路事業)
- ・府道豊中吹田線の電線共同溝詳細設計(大阪府から受託)

【スケジュール】

- ・令和3～4年度(2021～2022年度)：府道豊中吹田線の電線共同溝詳細設計
駅前広場用地取得のための公共施設管理者負担金
- ・令和4年度(2022年度)：用地買収(街路事業)
府道豊中吹田線の電線共同溝詳細設計
- ・令和5年度(2023年度)：駅前広場用地取得のための公共施設管理者負担金
- ・令和6年度(2024年度)：駅前広場用地取得のための公共施設管理者負担金
地下埋設物工事、電線共同溝整備工事、駅前広場整備工事
- ・令和7年度(2025年度)：電線共同溝整備工事、駅前広場整備工事完了予定



3-8. 道路・水路の適切な維持・管理

道路・水路の維持・修繕については、パトロールや市民からの通報を基に優先順位を付けたうえで、総価契約、単価契約、緊急修繕、直営修繕を組み合わせながら、市民からの要望に迅速かつ適切に対応します。

また、管理については、公共施設としての機能確保に努めることにより、災害に強い都市基盤を構築していきます。

(1) 生活道路舗装事業

【概要】

道路パトロールや市民要望に基づく現地調査から舗装の損傷状態を把握し、必要に応じて劣化した舗装の補修を行います。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

- ・市内一円舗装補修

(2) 路面下空洞調査事業

【概要】

道路陥没の発生件数は横ばい傾向にあるが、近年、重大な被害をもたらす大規模な陥没が連続していることから、陥没事故を未然に防止し、市民の安心・安全な交通を確保するため、路面下空洞調査を実施します。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

- ・平成26年度（2014年度）空洞調査路線（2回目）調査（歩道 L=50 km）

(3) 街路樹更新事業

【概要】

街路樹は老木化や大木化が進み、倒木や枝落ちによる事故が発生していることから、平成28年度（2016年度）より調査・点検を実施し、従来の緑量の確保から質的向上に転換する必要があるため、令和2年（2020年）3月に「豊中市街路樹維持管理方針」を策定し、この方針に基づく再整備計画（更新・撤去）を取りまとめました。今後は、この計画に基づき街路樹の計画的な再植栽や伐採撤去を行います。

【令和4年度（2022年度）事業概要】

- ・街路樹植替工事 N = 86 本
- ・街路樹点検調査 N = 800 本

【スケジュール】

- ・令和元年度（2019年度）：「豊中市街路樹維持管理計画方針」の策定
- ・令和2～11年度（2020～2029年度）：街路樹植替工事
- ・令和4年度（2022年度）：街路樹点検調査（中間点検）
- ・令和9年度（2027年度）：街路樹点検調査（定期点検・簡易診断）
- ・令和10年度（2028年度）：街路樹点検調査（初期診断・外観診断・精密診断）

（4）道路通報アプリ・LINEを活用した通報サービスの運用

【概要】

道路の不具合について、市民が手軽に通報できるように、スマートフォンが持つカメラやGPSの機能を利用した道路通報アプリ「まちカメくん」を平成29年（2017年）10月から試験運用し、平成31年（2019年）4月からは、「道路」以外に「公園」「水路」「ごみ」「水道」などの不具合についても通報できるようにしたうえで本格的に運用しています。更に、令和2年（2020年）4月からは、「街区表示板」の不具合についても通報できるようにしています。

また、豊中市公式LINEのリニューアルにより、令和4年（2022年）2月から写真投稿サービスが追加され、道路通報アプリ「まちカメくん」と同等の道路損傷等通報サービスの運用を開始しています。

【スケジュール】

- ・平成29年度（2017年度）：道路通報アプリ「まちカメくん」試験運用開始（道路）
- ・平成29～30年度（2017～2018年度）：効果検証、機能拡充検討
- ・令和元年度（2019年度）：通報アプリ「まちカメくん」本格運用（道路・公園・水路・ごみ・水道）

- ・令和2年度（2020年度）：不具合の選択項目追加（街区表示板）
- ・令和3年度（2021年度）：LINEを活用した通報サービス運用開始

（5）細街路整備事業

【概要】

高度経済成長期において無秩序な宅地開発を防ぎ、秩序ある良好なまちづくりを図るため、「生活圏道路計画」を昭和48年（1973年）に策定しました。計画策定から40年以上が経過し市街地の拡大も収束しており、本来の目的も一定果たされていることや、道路計画の根幹となる都市計画道路網も見直されたこと、また、地方自治法の改正などもあり、要綱に基づく指導では協力が得られなくなってきました。そのため、計画及び制度の見直しを行うため、令和元年度（2019年度）に地元説明会、パブリックコメント、豊中市土地利用の調整に関する条例への位置付けを行い、新たに策定した「豊中市細街路整備計画」に基づき、細街路整備の推進を図ります。

（6）寄附道路整備助成事業

【概要】

市街地における一定の道路幅員を有した地区内道路の公道化を目的に「私有道路敷寄付採納要綱」を昭和44年（1969年）に策定しました。この要綱に基づき、寄附を受けた道路敷のうち、自己居住用の住宅の建替え等による道路敷の寄附の場合は、市が道路整備及び測量を行ってきましたが、建築工事のスケジュールに迅速な対応が困難なことから寄附に至らないケースが増えてきました。そのため、平成29年度（2017年度）より、工事費等の費用について助成制度の導入により、迅速な対応ができるよう、新たに「豊中市狭あい道路等の寄附に関する要綱」を策定し、私道の公道化と道路機能の確保を図ります。

(7) 風水害警戒体制

【概要】

風水害対策本部が設置されるまでの初動体制として、危機管理課、上下水道局及び消防局の職員と協力し、大雨や台風の接近に伴う災害等の警戒や防御を担っています。



平成 18 年（2006 年）の集中豪雨



水防訓練（土のう積み工）

4. その他の取り組み

4-1. 歳入確保の取り組み

○道路予定地活用事業

【概要】

今後増加が見込まれる道路・橋梁などの維持管理経費に充てるため、事業着手が当面見込めない道路予定地を駐車場事業として運営する民間事業者に使用を許可します。

<令和4年（2022年）4月時点実績>

設置場所	所在地	使用面積 及び部分	使用事業者名
市道千里園熊野田線	豊中市本町9丁目	936㎡	リアル・ユウ株式会社
市道豊中柴原線	豊中市刀根山2丁目	436㎡	株式会社サニカ

4-2. ほたるの夕べ

【概要】

昭和58年（1983年）、豊中市は公共下水道事業の啓発及び水に親しむ環境整備を図るため、下水処理水を利用した親水水路（新豊島川）の整備に取り組みました。

平成元年（1989年）からは、親水水路の一部（蛍の里）において、人工飼育した蛍の公開を始め、現在も市の風物詩として親しまれています。



蛍の里内部写真



ポスター

